

2023

The Behaviormetric Society

日本行動計量学会

第51回大会 プログラム冊子

Program of the 51st Annual Meeting of the Behaviormetric Society

2023年8月28日(月)～8月31日(木)



青山学院大学

共催

青山学院大学教育人間科学部附置教育人間科学研究所
青山学院大学経済学会
青山学院大学経営学会
青山学院大学国際政治経済学部附置国際研究センター

日本行動計量学会

第 51 回大会プログラム

第 51 回日本行動計量学会大会を 2023 年 8 月 28 日(月)~8 月 31 日(木)に青山学院大学青山キャンパスにおいて開催させて頂くことになりました。

青山学院は、米国のメソジスト監督教会が日本に派遣した宣教師によって創設された 3 つの学校を源流とする、148 年の歴史を有する総合学園であり、青山学院大学としては 1949 年に新制大学として開校いたしました。現在は青山キャンパスと相模原キャンパスの 2 キャンパスに併せて 11 学部・12 研究科、約 2 万人の学生をもつ大学になります。日本行動計量学会大会の青山学院大学での開催は、相模原キャンパスが開学して 2 年目の 2004 年の第 32 回大会を開催して以来、今大会が 2 回目の開催となるようですが青山キャンパスでお引き受けするのは初めてとなるようです。

青山キャンパスは渋谷駅から徒歩 10 分、表参道駅から徒歩 5 分と交通の便も良く、また品川駅から渋谷駅まで山手線で 13 分と遠方からのアクセスも比較的良い立地にあり、都心周辺にお住いの先生方はもとより地方の先生方の移動の負担も少なくできると考えます。また、Zoom を利用したオンラインの併用も行います。

大会では、例年と同様に「一般セッション」、「特別セッション」、「ポスターセッション」、「ラウンドテーブル・ディスカッション」の開催を予定しております。加えて、コロナ禍でこの 3 年間実施できなかった懇親会も開催いたします。

さらに、2023 年は学会創立 50 周年にあたることから、創立 50 周年記念シンポジウムを大会 3 日目に開催を予定しており、このような節目に本学で開催できることを大変うれしく思っております。

なお、本大会は青山学院大学教育人間科学部附置教育人間科学研究所、青山学院大学経済学会、青山学院大学経営学会、青山学院大学国際政治経済学部附置国際研究センターには共催という形でご協力をいただいております。

大会実行委員会は、本学の教員および学会の大会委員を中心とする学会員によって構成し、これまで準備を進めてまいりました。本大会を盛り立てるべく、実行委員一同、最善を尽くす所存です。

多くの方々のご参加を賜り、活発な議論が繰り広げられますことを期待しています。どうぞよろしく願いたします。

第 51 回大会実行委員長 横山 暁
(青山学院大学経営学部)

大会の概要

1. 基本情報

- (1) 期 間:2023 年 8 月 28 日(月)～2023 年 8 月 31 日(木)
- (2) 場 所:青山学院大学 青山キャンパス
- (3) 大会ウェブページ URL :<https://conference.wdc-jp.com/bms/2023/>
- (4) 問い合わせ先:
大会ヘルプデスク(bsj-desk@conf.bunken.co.jp)
大会実行委員会(bms51conf@gmail.com)
- (5) 大会の構成:
 - 8 月 28 日(月) 12:00 受付開始
12:30～18:00 チュートリアルセミナー
 - 8 月 29 日(火) 9:30 受付開始
10:00～17:20 特別セッション、一般セッション、ラウンドテーブル・ディスカッション
 - 8 月 30 日(水) 9:00 受付開始
9:30～11:30 特別セッション、一般セッション、ポスター発表
12:30～13:30 総会
14:00～18:30 50 周年シンポジウム
19:00～21:00 懇親会(明治記念館)
 - 8 月 31 日(木) 9:00 受付開始
9:30～16:50 特別セッション、一般セッション、ラウンドテーブル・ディスカッション

※開催形式はハイフレックス方式(現地とオンライン)を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、全面オンライン形式での開催となる可能性もございます。

2. 大会までのスケジュール

| | |
|--------------------|--|
| 2023 年 1 月 25 日(水) | Web サイト公開 |
| 2023 年 4 月 3 日(月) | 特別セッションの企画募集開始 |
| 2023 年 4 月 20 日(木) | 大会参加事前申込、一般発表申込、抄録原稿受付 チュートリアルセミナー参加申込、各種開始 |
| 2023 年 5 月 29 日(月) | 特別セッションの企画募集締め切り |
| 2023 年 6 月 9 日(金) | 一般研究発表申込締め切り |
| 2023 年 6 月 16 日(金) | 抄録原稿提出締め切り |
| 2023 年 7 月下旬 | 速報版プログラムウェブ公開予定 |
| 2023 年 8 月上旬 | プログラム冊子送付予定 |

2023年8月1日(火) 事前参加申込締め切り
 2023年8月4日(金) 事前参加費振込締め切り
 2023年8月28日(月)～8月31日(木) 第51回大会

3. 参加費等

(1) チュートリアルセミナー参加費(1テーマあたり)

| 1テーマあたり | 正会員 | 準会員(学生) | 賛助会員 | 非会員(一般) | 非会員(学生) |
|---------|--------|---------|--------|---------|---------|
| 早期振込 | 3,000円 | 2,000円 | 3,000円 | 6,000円 | 4,000円 |
| 当日支払 | 4,000円 | 3,000円 | 4,000円 | 7,000円 | 5,000円 |

- 早期振込は Web による参加申込(8月1日(火)まで)・参加費支払い(8月4日(金)まで)をともに行われた方が対象です。それ以後は原則通常料金でのクレジットカード支払いとなります。個別の事情については実行委員会にお問い合わせください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

(2) 大会参加費

| | 正会員 | 準会員(学生) | 賛助会員 | 非会員(一般) | 非会員(学生) |
|------|--------|---------|--------|---------|---------|
| 早期振込 | 6,000円 | 3,000円 | 6,000円 | 10,000円 | 6,000円 |
| 当日支払 | 8,000円 | 5,000円 | 8,000円 | 12,000円 | 8,000円 |

- 大会参加費には抄録集 1冊を含みます。(チュートリアルのみを受講の場合は頒布いたしません)
- 正会員には名誉会員・シニア会員を含みます。
- 賛助会員は3名様まで無料です。担当者にメール等で連絡をいたしますので、そちらをご確認いただきお申し込みください。
- 早期参加費は Web による参加申込(8月1日(火)まで)・参加費支払い(8月4日(金)まで)をともに行われた方が対象です。それ以後は原則通常料金でのクレジットカード支払いとなります。個別の事情については実行委員会にお問い合わせください。
- 参加費のお振込みまで完了頂いた場合、参加キャンセルはできませんのでご注意ください。

(3) 懇親会費

| | 一般 | 学生 |
|------|---------|--------|
| 早期振込 | 10,000円 | 4,000円 |

- 7月28日(金)が申込締め切りとなります。当日の参加申込は受け付けられません。
- 定員に達した場合は予告なく締め切ります。
- 申込後のキャンセルおよび返金はいかなる理由でも受け付けられません。

4. 宿泊について

宿泊先は予約、斡旋しておりません。

5. 昼食について

本学の 17 号館 1 階に食堂がございます。また 1 号館 1 階にコンビニエンス・ストア(セブン-イレブン)がございます。また大学の周辺にも飲食店が多数ございます。

無線 LAN

キャンパス内では eduroam が利用できます。また発表者用にゲスト無線 LAN を用意いたします。

会場の機器と発表用資料について

「口頭発表」では、原則対面方式を予定しておりますが、オンラインからの発表も可とします。

(1) 会場での発表

液晶プロジェクターおよび大型スクリーンが利用できます。PC はご自身のものをご持参ください。ご自身の PC をインターネットに接続いただき、セッションのオンライン会議システム (Zoom) に接続し、画面共有をした上で発表してください。その際、スピーカーおよびマイクは必ず OFF にしてください。

発表者(および質問者)は会場のマイクを利用し、会場設置の PC に接続されたマイクで収録します。

発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。オーラル(口頭)セッションで補足資料を利用する場合は、50 部程度を目安として配布プリントをご持参ください。

(2) 遠隔からの発表

オンライン会議システム (Zoom) に接続し、画面共有をしたうえで発表してください。

一般セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 51 回大会の一般セッションの発表形態には「オーラル(口頭)」、「ポスター」があります。

一般セッション「オーラル(口頭)」における発表時間は、質疑応答を含めて 20 分です。座長の指示に従い、時間厳守をお願いいたします。「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

一般セッション「ポスター」では、割り当てられたセッション中にポスターを掲示し、かつ、各ポスターの発表者が質疑に応じます。詳細については、別項目「ポスターセッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

特別セッションについて

本大会は、ある特定テーマについて議論を行う「特別セッション」と一般研究発表を行う「一般セッション」から構成されます。第 51 回大会の特別セッションの発表形態には、「オーラル(口頭)」、「ラウンドテーブル」があります。

特別セッション「オーラル(口頭)」は、1 セッション 120 分で、3 件以上の発表をまとめ、一つの企画として実施されます。セッションは、オーガナイザー、司会者、討論者により進行します。それぞれのテーマに沿って発表を行い、発表に関しては、フロアからの質疑応答も可能です。また、企画によっては複数セッションで実施されることもあります。

特別セッション「ラウンドテーブル」については、別項目「ラウンドテーブル・ディスカッションについて」に記載されていますので、そちらをご覧ください。

いずれも発表形式の詳細については事前にオーガナイザーの方にお問い合わせください。また、あわせて「会場の機器と発表用資料について」の説明もご覧ください。

ポスターセッションについて

一般セッション「ポスター」は、2023年8月30日(水) 10:00～12:00 に実施します。完全対面方式となります。(オンラインからの発表およびオンライン配信はありません)

発表は、次の要項に従って行いますので、発表者の方は、間違いのないようにしてください。

【ポスター発表の成立について】

1. ポスター発表は、指定された時刻までに会場の指定されたボード位置にポスターを掲示し、発表時間中に60分以上在席し、質疑に応じることにより、正式発表とみなされます。
2. ポスター発表者が欠席した場合、および発表時間中に60分以上在席していない場合は、「発表取消」となります。発表者の欠席、(連名発表の場合の)発表者の交替などについては、会期前は大会実行委員会に、会期中はポスターセッション座長にご連絡ください。

【ポスターの準備について】

1. ポスター掲示板(ボード)は、B1サイズのポスターが掲示可能です。これをポスターの大きさの上限として作成してください。
2. ポスターの上部には、発表題目と発表者全員の氏名と所属をご記入ください。連名の場合には主発表者に○印を付けてください。

【発表当日について】

1. 発表者は、発表当日の9:30までに総合受付で発表手続を行ってください。発表者の到着確認を行います。その際、ポスター掲示用の押しピンもしくはテープを受け取り、発表会場の指定された番号のボードにポスターを貼ってください(もし別の方法でポスターを貼り付けたい場合は、必要なものをご持参ください)。
2. 発表者がどの場所で発表を行うかは、ポスター会場にわかるように掲示しますので、ご確認の上、ご準備ください。
3. 発表者は、10:00までに貼り付け作業を終了してください。10:00の時点で貼り付けが終了されていることを実行委員が確認します。
4. 発表用の資料は原則として抄録集に掲載されたものとします。補足資料を配布される方は、50部程度をご持参ください。配布も各自でお願いします。
5. 掲示したポスターは、ポスターセッションの座長が終了をお知らせした後、12:30までに片付けてください。それ以降も掲示したままのポスターは大会実行委員会に取り外し、処分いたします。

ラウンドテーブル・ディスカッションについて

本大会では、ラウンドテーブル・ディスカッションを行います。ラウンドテーブル・ディスカッションは、円卓を囲み、話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）のテーマにより自由に意見を交換しながら議論する場です。先着順にテーブルに着席した参加者は「討論者」として自由に発言できます。しかし、議論した結果が特定の結論に至ることを課題としません。

ラウンドテーブル・ディスカッションは研究成果を報告するだけでなく、現在抱えている研究上の疑問、現場での課題、課題についての解決策などを持ち寄り、参加者全員で当該のテーマについて議論します。また、これまでの現場での体験や研究成果をもとに新たな仮説を提案し、それをもとに議論することも可能です。

1つのセッションの時間は60分となります。一般セッションとは異なり、十分な時間をかけて話題提供者と参加者が自由に意見交換を行い、テーブルを囲む全員が同じ立場と目線で話し合います。また、議論した内容を踏まえた上で、話題提供者だけでなく、参加している方々の研究についても、改めて深く考えていただき、今後のご自身の研究をどのように発展させたいかを考え、その内容をグループで共有し、さらに意見や感想をやりとりしていただくような研究者の交流の場としてもご利用いただければと思います。さらに、テーブルを囲む参加者（討論者）以外で、周囲のオブザーバー（テーブルの周囲の聴衆）も議論に参加することも可能です。話題提供者と参加者（討論者）が意見を交わしている状況に、オブザーバーが発言していただいてもかまいません。

なお、本大会では会場設営の都合上、円卓ではなくテーブルを口の字（四角）に配置し、椅子を10～15脚程度準備します。話題提供者（発表者・オーガナイザー）も参加者もともに着席します。参加希望者が多い場合は、周りのオブザーバー用の席をご利用いただきます。

1. ラウンドテーブル・ディスカッションは話題提供者（「発表者」、「オーガナイザー」）も参加者（討論者）も、ともに着席して開始します。なお、途中の入退場は極力お控えください。

「オーガナイザー」…セッションの企画者

「司会者」…話題提供者と討議の開始と進行を支える参加者

「発表者」…セッションにおける報告者

「討論者」…テーブルを囲んで討論する参加者

「オブザーバー」…テーブルの周囲の聴衆

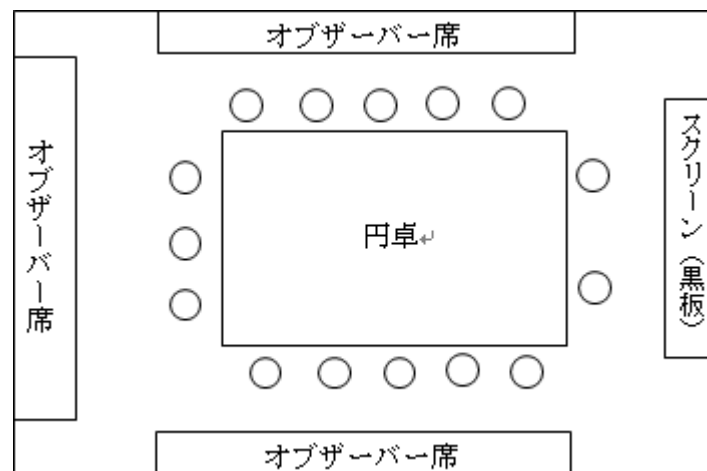
（注）「参加者」は上記の全員、「話題提供者」は「オーガナイザー」と「発表者」の両方を指します。

2. まずは話題提供者が、研究の概要と論点についての説明を行ってください。セッションの時間の半分以上を討論の時間に充てるため、この説明が長くなりすぎないように気をつけてください。
3. 次に討論者全員が、ショートコメントをまじえた自己紹介を行ってください。
4. その後は話題提供者の発表の流れに沿いながら、討論者などからのコメントをまじえ、参加者全員で意見交換を進めてください。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せてください。

5. 司会者は第一の参加者として発言者を助け、ラウンドテーブルを囲む全員が交流できるよう、話題提供者と討議の開始と進行を支えてください。議論のための時間(セッションの半分以上)を確保するだけでなく、参加者に対し発言を促すようなことも状況に応じて行ってください。ただし、研究報告の主体は話題提供者であり、討議の主体は話題提供者と参加者です。司会者が進行に気を使わずとも、両者の発言が順調に進み始めたら、司会者は討議について自然の成り行きに任せてください。なお、司会者は、全体の意見をまとめたり、結論づけたりすることに責任を負う必要はありません。一参加者として、意見の交流を楽しんでください。また、討論者や他の参加者と協力し、時間どおりの開始と終了を目指して、時間の管理と進行をお願いします。
6. 今回のラウンドテーブル・ディスカッションでは、討議に加わらず、オブザーバーとして周囲で見学をするだけでも構いません。しかし、ご自身の意見を一言述べていただくだけでも研究の交流が生まれますので、可能な限りテーブルに着席し、討議に参加してください。一人でも多くの方にテーブルに着席して議論に参加していただければ、意見交換も盛り上がると思います。積極的なご参加をお願いいたします。

※話題提供者はテーマについて議論できるような発表用の資料(プレゼン用ファイル、配布資料等)をご準備ください。補足資料がある場合は 30 部程度を目安として配布資料をご用意ください。発表には液晶プロジェクターが利用できます。PC はご自身のものをご用意の上、セッション開始前に接続テストを済ませてください。

ラウンドテーブル・ディスカッション会場イメージ



*会場によっては若干イメージと異なる場合があります。

チュートリアルセミナー

日 時: 2023年8月28日(月) (12:00 受付開始)

テーマ A: 12:30~15:00 テーマ B: 15:30~18:00

テーマ A 「統計的因果効果推定の入門と応用例」

講 師: 星野 崇宏 先生(慶應義塾大学)

場 所: 青山学院大学青山キャンパス 17号館4階 17406教室

概 要:

現代的な統計的因果推論の基礎的なフレームワークであるルービン因果モデルと、これに基づいた因果効果の定義、およびその推定法について、具体的な研究例を踏まえながら説明します。

具体的にはルービン因果モデル、因果効果の定義、傾向スコアなどをはじめとする様々な共変量調整法、因果効果の調整効果や二重にロバストな推定、共変量選択などについて説明します。

また差分の差(DID)法や回帰不連続デザイン、SCM法、操作変数法の考え方に基づいたノンコンプライアンスのある場合の因果効果推定についても紹介します。時間的制約のため、プログラム等の紹介はしませんが、関連するプログラムコードは提供する予定です。

なお、星野先生の都合により、講演が完全オンライン形式となりました。大会会場ではプロジェクター投影となります。

テーマ B 「やってみようテキストマイニング」

講 師: 牛澤 賢二 先生(株式会社 シード・プランニング)

場 所: 青山学院大学青山キャンパス 17号館4階 17407教室

概 要:

これからはじめてテキストマイニングをやってみよう、と思っている人を対象に、実際の自由回答アンケートデータを分析しながら進める体験的セミナーです。アンケートデータをテキストマイニングするということは、回答してくれた人たちの考えていることを自分なりに解釈することであり、このセミナーでは、次のことを解説していきます。

(1) テキストマイニングの手順とポイント

(2) 第1段階の分析(探索的な分析): 抽出した語の出現頻度を数え、語と語の関連構造を探索的に分析します。

(3) 第2段階の分析(仮説検証的な分析): (2)に基づいて分析者が仮説コードを設定し、全回答を分類して要約し、データ全体の構造や特徴を明らかにします。

分析対象がテキストデータということもあって、いずれのステップにおいても“可視化”が重要なポイントと言えます。まずは一緒に「やってみましょう」。そしてあとは自分のデータを使って分析してみましょう。今までにはなかったような達成感が得られると思います。

なお、セミナーではテキストマイニングのフリーソフトウェア「KH Coder」を利用します。

(インストール等の準備については申込者に対して事前に連絡いたします。)

日本行動計量学会創設 50 周年記念シンポジウム

第 51 回大会では以下のとおり日本行動計量学会創設 50 周年記念シンポジウムを実施します。

日時：2023 年 8 月 30 日(水) 14:00～18:30

会場：青山学院大学 青山キャンパス 本多記念国際会議場(17 号館 6 階)

タイトル：日本行動計量学会創設 50 周年記念シンポジウム

－ 半世紀を振り返り、半世紀に挑む －

企画：日本行動計量学会創設 50 周年記念事業委員会

総合司会：松田いづみ(青山学院大学)

プログラム

オープニング 14:00～14:10 狩野 裕 (大阪大学・日本行動計量学会理事長)

記念講演 14:10～15:40

司会：松本 渉 (関西大学)

講演 1：岩坪 秀一 (大学入試センター 名誉教授)

「創成期の日本行動計量学会」

講演 2：岡太 彬訓 (立教大学 名誉教授)

「日本行動計量学会：私にとっての五十年を振り返る」

休憩 15:40～16:00

パネルディスカッション 16:00～18:00

テーマ「未来への行動計量学」

ファシリテーター：狩野 裕(大阪大学)

パネリスト：

宇佐美 慧 (東京大学 教育学研究科)

及川 怜 (慶應義塾大学 SFC 研究所)

小杉 考司 (専修大学 人間科学部)

堤 瑛美子 (東京大学 情報理工学系研究科)

福田 昌史 (読売新聞社 世論調査部)

脇田 彩 (お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系)

記念シンポジウム終了後、明治記念館にて記念パーティを行います。

参加申し込みについて

シンポジウムのみのご参加の方は事前登録の必要ありません。懇親会にもご参加の方は、第 51 回大会のウェブページの参加申込より、懇親会をお申し込みください。事前申し込みがない場合、懇親会にはご参加いただけません。

総会

日時：2023年8月30日(水) 12:30～13:30

会場：青山学院大学青山キャンパス 17号館4階 17411教室 および オンライン(Zoom)

総会にオンライン参加の場合の接続先は、大会開催前に会員メーリングリストでお知らせします。会員メーリングリストの購読ができない場合は、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。

懇親会

日時：2023年8月30日(水) 19:00～21:00

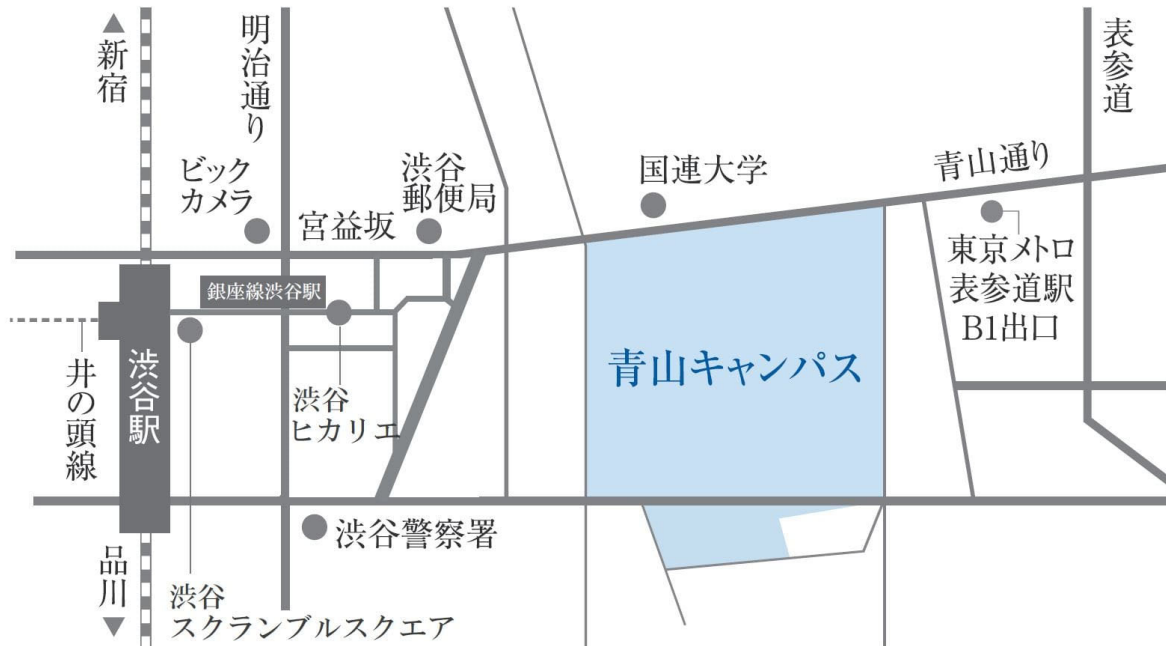
会場：明治記念館 末広の間

- 学会創設50周年記念シンポジウム終了後、会場までシャトルバス(25名乗り2台)を出す予定です。詳細は当日までにお知らせいたします。
- 7月28日(金)が申込締め切りとなります。当日の参加申込は受け付けられません。
- 申込後のキャンセルおよび返金はいかなる理由でも受け付けられません。

青山学院大学青山キャンパスへの交通アクセス

所在地: 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ「渋谷駅」より徒歩 10 分
東京メトロ「表参道駅」より徒歩 5 分

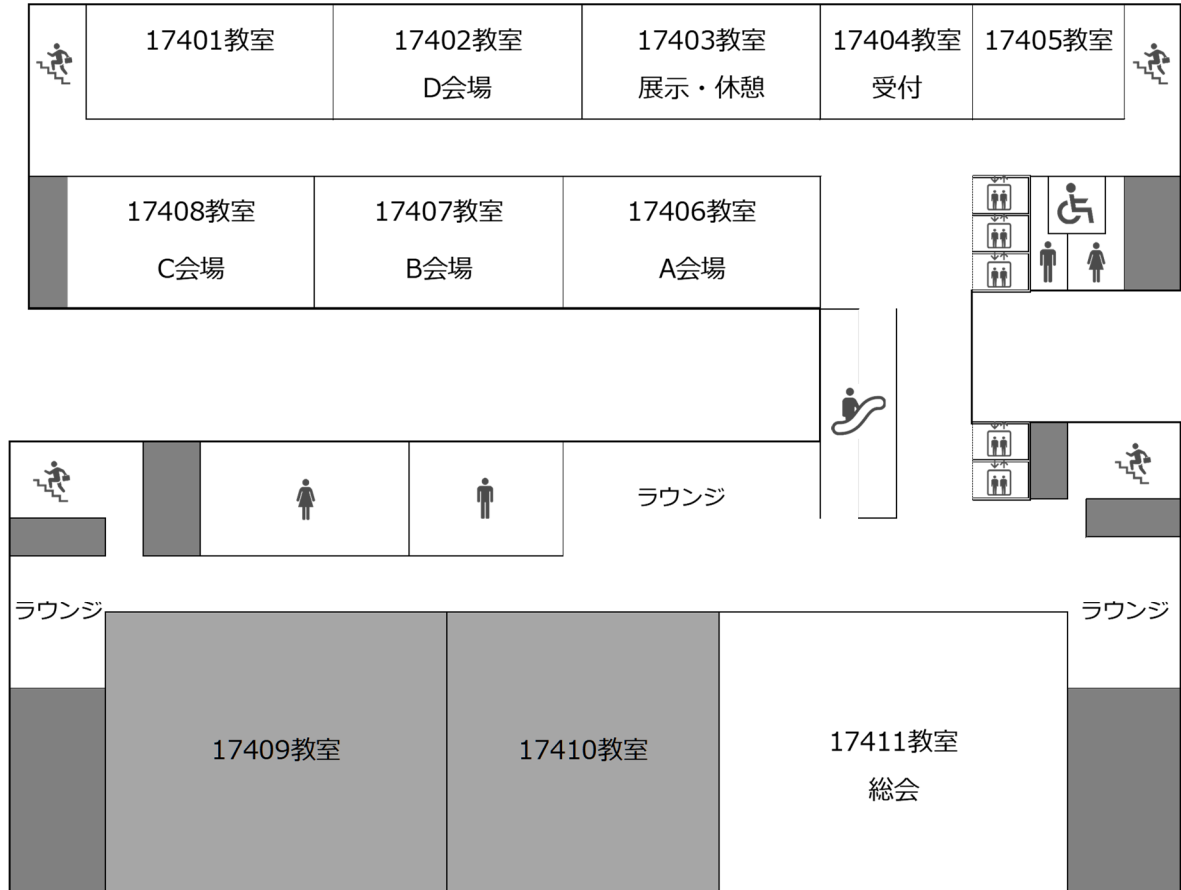


青山学院大学青山キャンパスマップ



大会・総会・学会創設 50 周年記念シンポジウムは 17 号館です。

会場見取り図



日本行動計量学会創設 50 周年記念シンポジウムは 17 号館 6 階です。

プログラム

| 8月28日(月) | |
|---------------------|---|
| チュートリアルセミナー | |
| 12:00 | 受付開始 |
| 12:30 ～ 15:00 | テーマ A タイトル: 統計的因果効果推定の入門と応用例 講師: 星野 崇宏 先生(慶應義塾大学) 場所: 青山学院大学青山キャンパス 17号館4階 17406教室 |
| 15:30 ～ 18:00 | テーマ B タイトル: やってみたいテキストマイニング 講師: 牛澤 賢二 先生(株式会社 シード・プランニング) 場所: 青山学院大学青山キャンパス 17号館4階 17407教室 |

| 8月29日(火) | | | | |
|---------------------|-----------|------------------|----------------------|--|
| | A会場 | B会場 | C会場 | D会場 |
| 9:30 | 受付開始 | | | |
| 10:00 ～ 11:00 | 一般セッション | 特別セッション | 一般セッション | ラウンドテーブル |
| 11:00 ～ 12:00 | 教育 | 栄養摂取と消費者行動 | 社会1 | AI等のテクノロジーが職業に与える影響を如何にして推計するか? |
| 昼休み | | | | |
| 13:00 ～ 14:00 | 一般セッション | 特別セッション | 特別セッション | ラウンドテーブル |
| 14:00 ～ 15:00 | 多変量解析 | マーケティングにおける行動計量1 | 機械学習による不正会計検知とその法的課題 | シングルケースデザインのメタ分析: ビデオモデリングを用いたシングルケース研究を対象としたメタ分析の実践 |
| 15:20 ～ 16:20 | 一般セッション | 特別セッション | 特別セッション | ラウンドテーブル |
| 16:20 ～ 17:20 | 調査・データ解析1 | マーケティングにおける行動計量2 | 犯罪現象の行動計量 | 教育課程および大学入学前後の学習経験を考慮した心理統計教育 |

| 8月30日(水) | | | | |
|---------------------|--|------------|---------|-----------------------|
| | A会場 | B会場 | C会場 | D会場 |
| 9:00 | 受付開始 | | | |
| 9:30 | 特別セッション | 一般セッション | 一般セッション | ポスター発表 10:00~12:00 |
| ~ 11:30 | 意思決定の心理モデルと行動計量 | 調査・データ解析 2 | 社会 2 | |
| 昼休み | | | | |
| 12:30 ~ 13:30 | 総会 17号館 4階 17411 教室 | | | |
| 14:00 ~ 18:30 | 学会創設 50 周年記念シンポジウム 本多記念国際会議場(17号館 6階) | | | |
| 19:00 ~ 21:00 | 懇親会 明治記念館 末広の間 | | | |

| 8月31日(木) | | | | |
|---------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------------------|
| | A会場 | B会場 | C会場 | D会場 |
| 9:00 | 受付開始 | | | |
| 9:30 | 一般セッション | 特別セッション | 特別セッション | |
| ~ 11:30 | 心理 | 多様な非対称データ解析についての研究と応用 | 継続調査と国際比較調査の分析 | |
| 昼休み | | | | |
| 12:30 ~ 13:30 | 特別セッション | 一般セッション | 特別セッション | ラウンドテーブル 多様な非対称データ解析の有用性と適応可能性 |
| ~ 14:30 | 心理学におけるモデリングアプローチの展開 V | マーケティング 1 | 世論調査・社会調査の方法論と実践的研究 | |
| 14:50 | 特別セッション | 一般セッション | 特別セッション | |
| ~ 16:50 | WAIC/WBIC と項目反応理論への応用 | マーケティング 2 | 調査をめぐる環境変化と問題についての検討 | |

8月28日(月)

12:30-15:00

8月28日(月)チュートリアルセミナーA【A会場】
統計的因果効果推定の入門と応用例

講師: 星野 崇宏 (慶應義塾大学)

15:30-18:00

8月28日(月)チュートリアルセミナーB【B会場】
やってみようテキストマイニング

講師: 牛澤 賢二 (株式会社 シード・プランニング)

8月29日(火)

10:00-12:00

8月29日(火)一般セッション(120分)【A会場】
教育

座長: 岡田 謙介 (東京大学大学院教育学研究科)

C21A-1 10:00~10:20

大学生の学習パフォーマンスはLMSログで予測できるか?
グラフ特徴量を用いた検討
三石 大(東北大学), ○大山 智也(東北大学)

C21A-2 10:20~10:40

学習者の能力の時系列変化を畳み込む Temporal Convolutional Network を
組み込んだ Deep-IRT
○堤 瑛美子(東京大学大学院情報理工学系研究科), 西尾 徹朗(ラクスル
株式会社), 植野 真臣(電気通信大学大学院情報理工学研究科)

C21A-3 10:40～11:00

設問文の内容を考慮して適応的に学習者の反応予測が可能な大規模言語モデルからの項目特性抽出
○江原 遥(東京学芸大学)

C21A-4 11:00～11:20

ニューラルネットワークのパラメタの主成分分析による事象関連電位を用いた十分学習済み脳状態の推定
○船田 眞里子(白鷗大学), 船田 忠(株式会社 藤掛商店)

C21A-5 11:20～11:40

事象関連電位の類似度による課題反復時の脳活動の変化
ー戦略別計算課題と正答率を用いてー
○渋谷 美紀(白鷗大学), 船田 眞里子(白鷗大学)

C21A-6 11:40～12:00

診断分類モデルの変分ベイズ推定のための R パッケージ
土方 啓一郎, 岡 元紀, 山口 一大, ○岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【B会場】

栄養摂取と消費者行動

オーガナイザー: 櫻井 宏明(学習院女子大学)

オーガナイザー, 司会者: 森 一将(千葉大学)

討論者: 井出野 尚(東京理科大学)

S21B-1

栄養プロフィール(Nutli-Score)の予測に影響を与える要因の分析: パーソナリティ特性を中心にして
○森 一将(千葉大学国際未来教育基幹), 浅川 雅美(文教大学), 櫻井 宏明(学習院女子大学)

S21B-2

大学生における主観的幸福感と食塩摂取の関係性

○大橋 洸太郎(文教大学情報学部), 森 一将(千葉大学国際未来教育基幹), 櫻井 宏明(学習院女子大学国際文化交流学部)

S21B-3

Nutri-score と MTL への注視行動

アイトラッキングによる分析

○浅川 雅美(文教大学), 岡野 雅雄(文教大学)

8月29日(火) 一般セッション(120分)【C会場】
社会1

座長:尾碕 幸謙(筑波大学大学院 ビジネス科学研究科)

C21C-1 10:00~10:20

スマホ利用時間の意識に影響を与える要因

— ICT 利用のライフスタイル研究 —

○小島 誠也((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授)

C21C-2 10:20~10:40

ICT 機器別に見る利用が高いシニアの特性分析

— ICT 利用のライフスタイル研究 —

○水野 一成((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授)

C21C-3 10:40~11:00

コロナ禍前後における友人との交流とICT利活用

— ICT 利用のライフスタイル研究 —

○吉良 文夫((株)NTTドコモ モバイル社会研究所), 飽戸 弘(東京大学名誉教授)

C21C-4 11:00~11:20

マッチングアプリにおける趣味・関心の類似性が外的・階層的魅力に基づくパートナー選択に与える影響

○高野 雅典(株式会社サイバーエージェント)

C21C-5 11:20～11:40

提案型オンラインデーティングサービスの短時間ビデオチャットにおける相手
に対する満足度の構造方程式モデリング
外面的魅力と内面的魅力が総合満足度や連絡先交換可否に与える影響
○北原 洋一(株式会社リブセンス)

10:00-11:00

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】
AI等のテクノロジーが職業に与える影響を如何にして推計するか？

オーガナイザー,司会者,討論者:上野 雄史(静岡県立大学経営情報学部)
討論者:加藤 諒(一橋大学 ソーシャル・データサイエンス学部)
討論者:星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部)
司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

S21D-1

AI等のテクノロジーが職業に与える影響を如何にして推計するか？
:会計専門職の事例を中心としながら
○上野 雄史(静岡県立大学経営情報学部), ○加藤 諒(一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部・理化学研究所 AIP センター), 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

13:00-15:00

8月29日(火) 一般セッション(120分)【A会場】
多変量解析

座長:村上 隆(中京大学 文化科学研究所)

C22A-1 13:00～13:20

Independent cluster rotation に関する一考察
斜交回転なのになぜ因子ごとの説明力が定義できるのか？
○村上 隆(中京大学 文化科学研究所)

C22A-2 13:20～13:40

クロス表の SVD および内積による表現と座標変換

グラフ図示による例示

○岡本 安晴(日本女子大学)

C22A-3 13:40～14:00

行列分解モデルを用いた変数選択を伴う因子分析

○嶋田 直也(大阪大学大学院人間科学研究科), 山本 倫生(大阪大学 / 理研 AIP)

C22A-4 14:00～14:20

カテゴリカルデータの項目精選と評価

項目反応理論による検討

○片山 浩子(岡山理科大学)

C22A-5 14:20～14:40

EBPM の観点からみた我が国の新型コロナウイルス感染症関連(COVID19)データ

21 世紀感染症時代への対応

○高橋 義明(明海大学)

8 月 29 日(火) 特別セッション(120 分)【B 会場】

マーケティングにおける行動計量 1

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

オーガナイザー, 討論者: 土田 尚弘(麗澤大学経済学部)

S22B-1

マハラノビスの汎距離と消費者の異質性

○朝野 熙彦(コレクション)

S22B-2

マーケティングにおける各種の汎距離の応用

○後藤 太郎(CCCMK ホールディングス株式会社), ○梅山 貴彦(株式会社クロス・マーケティング)

S22B-3

消費者のパッケージデザインの好みの変化に関する計量分析
コロナ禍を通して消費者のパッケージデザインに対する好みはどのように変化したのか

○小口 裕(株式会社プラグ), 山口 陽香(株式会社プラグ)

S22B-4

消費者の CSR 知覚がブランド評価に与える影響

○土田 尚弘(麗澤大学)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【C会場】
機械学習による不正会計検知とその法的課題

オーガナイザー, 司会者: 尾碕 幸謙(筑波大学大学院 ビジネス科学研究科)

S22C-1

機械学習による不正会計検知方法の開発

○東海林 和雄(筑波大学)

S22C-2

不正会計検知ソフトウェアの紹介

○金井 伸也(専門学校東京テクニカルカレッジ)

S22C-3

監査手続における不正会計検知ソフトウェアの利用可能性

○中村 亮介(筑波大学ビジネスサイエンス系)

S22C-4

機械学習による不正会計検知についての法的検討

○白石 友行(千葉大学大学院社会科学研究院)

S22C-5

機械学習による不正会計検知についての法的検討——取締役の義務の視点から

○萬澤 陽子(筑波大学ビジネスサイエンス系)

13:00-14:00

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】
シングルケースデザインのメタ分析:ビデオモデリングを用いたシングルケース
研究を対象としたメタ分析の実践

オーガナイザー,司会者,討論者:山田 剛史(横浜市立大学)

オーガナイザー,討論者:高橋 彩(新見公立大学)

オーガナイザー,討論者:登藤 直弥(東京都立大学)

オーガナイザー,討論者:丹治 敬之(岡山大学)

S22D-1

シングルケースデザインのメタ分析

ビデオモデリングを用いたシングルケース研究を対象としたメタ分析の実践

○高橋 彩(新見公立大学), ○丹治 敬之(岡山大学), ○山田 剛史(横浜市立大学), ○登藤 直弥(東京都立大学)

15:20-17:20

8月29日(火) 一般セッション(120分)【A会場】
調査・データ解析 1

座長:襦岩 晶(国立教育政策研究所)

C23A-1 15:20~15:40

学力調査における出題順の正答率に対する影響について

○襦岩 晶(国立教育政策研究所)

C23A-2 15:40~16:00

近隣大学の閉鎖はどのように偏差値に影響するか

ABMと実証分析から

○樊 怡舟(広島大学), 中尾 走(広島市立大学), 康 凱翔(広島大学)

C23A-3 16:00～16:20

主成分分析を用いた共同学校事務室におけるリーダーシップの在り方に関する研究

ー栃木県公立小中学校事務職員全数アンケート調査結果よりー

○大橋 利昭(白鷗大学), 張 承玖(白鷗大学), 船田 眞里子(白鷗大学)

C23A-4 16:20～16:40

職業イメージのグラフィカル表現と進路選択支援への応用

○大森 拓哉(杏林大学)

C23A-5 16:40～17:00

役者絵における容貌の描き方の数量分析:写楽、豊国、春英の作品を対象として

○上阪 彩香(大阪成蹊大学), 村上 征勝(統計数理研究所)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【B会場】

マーケティングにおける行動計量 2

オーガナイザー:中山 厚穂(東京都立大学大学院)

オーガナイザー, 討論者:土田 尚弘(麗澤大学経済学部)

S23B-1

救急搬送データの自損行為より自殺未遂の動向を解析する
性別とCovid-19の影響について

○田久 浩志(国士舘大学救急システム研究科)

S23B-2

顧客満足度分析を応用したビジョン型シナリオの評価法

○井上 勝雄((株)ホロンクリエイト), 伊藤 健世(オリンパス株式会社), 高橋 克実((株)ホロンクリエイト)

S23B-3

デザイン画像と消費者印象の関係性についての定量的分析

○土田 尚弘(麗澤大学), 曾我部 瑤介(ユニ・チャーム株式会社), 小口 裕(株式会社プラグ)

S23B-4

Deep learning を用いたポジショニング戦略のための研究

○中山 厚穂(東京都立大学大学院)

8月29日(火) 特別セッション(120分)【C会場】

犯罪現象の行動計量

オーガナイザー: 島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部)

オーガナイザー: 齊藤 知範(科学警察研究所)

討論者: 山本 功(淑徳大学)

討論者: 小島 隆也(早稲田大学)

S23C-1

新たな犯罪危害指数としての心理的損害スコア

社会調査を通じた市民による犯罪危害評価と行動選択への影響

○大山 智也(東北大学), 羽生 和紀(日本大学), 谷 真如(内閣官房), 中江 百花(警察庁)

S23C-2

反復被害に影響する要因—一般市民対象の社会調査から(仮)

○鈴木 あい(福島大学 教育推進機構)

S23C-3

同一犯による一連事件の犯行地点分布の偏りの評価

○平間 一樹(科学警察研究所), 横田 賀英子(科学警察研究所), 渡邊 和美(科学警察研究所), 古橋 健悟(科学警察研究所), 大塚 祐輔(科学警察研究所)

S23C-4

高齢者の特殊詐欺被害予防行動に影響する要因の検討

行動経済学的要因と留守番電話常時使用行動の関係を中心に—

○齊藤 知範(科学警察研究所 犯罪予防研究室), 山根 由子(科学警察研究所 犯罪予防研究室), 島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪予防研究室)

S23C-5

縦断社会調査による特殊詐欺被害防止介入の効果検証

—警察官の戸別訪問とコールセンターからの架電—

○島田 貴仁(科学警察研究所 犯罪行動科学部), 齊藤 知範(科学警察研究所), 山根 由子(科学警察研究所), 高木 大資(東京大学)

15:20-16:20

8月29日(火) ラウンドテーブルディスカッション(60分) 15:20~16:20 D会場
教育課程および大学入学前後の学習経験を考慮した心理統計教育

オーガナイザー,司会者,討論者:山田 剛史(横浜市立大学)

オーガナイザー,討論者:村井 潤一郎(文京学院大学)

オーガナイザー,討論者:杉澤 武俊(早稲田大学)

オーガナイザー,討論者:寺尾 敦(青山学院大学)

S23D-1

教育課程および大学入学前後の学習経験を考慮した心理統計教育

○杉澤 武俊(早稲田大学), ○山田 剛史(横浜市立大学), ○村井 潤一郎
(文京学院大学), ○寺尾 敦(青山学院大学)

8月30日(水)

9:30-11:30

8月30日(水) 特別セッション(120分) 【A会場】
意思決定の心理モデルと行動計量

オーガナイザー,司会者:竹村 和久(早稲田大学文学学術院)

討論者:繁榘 算男(慶應義塾大学)

S31A-1

集団意思決定の数理モデルと計算機シミュレーション

○村上 始(北海学園大学経営学部), 川杉 桂太(早稲田大学教育・総合科学学術院), 玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 井出野 尚(東京理科大学経営学部), 中丸 麻由子(東京工業大学環境・社会理工学院), 竹村和久(早稲田大学文学学術院)

S31A-2

意思決定における眼球運動の画像解析

○川杉 桂太(早稲田大学 教育学部), 村上 始(北海学園大学 経営学部), 藤井 陽一朗(明治大学 商学部), 竹村 和久(早稲田大学 文学学術院)

S31A-3

質問紙による意思決定スタイルの測定と選択行動の検討

弱順序の公理に関する質問項目を用いて

○井出野 尚(東京理科大学), 森井 真広(東海大学経営学部), 玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 竹村 和久(早稲田大学文学学術院), 岡田光弘(慶應義塾大学文学部)

S31A-4

意思決定方略の計算機シミュレーション

○玉利 祐樹(静岡県立大学経営情報学部), 井出野 尚(東京理科大学経営学部), 竹村 和久(早稲田大学文学学術院)

8月30日(水) 一般セッション(120分)【B会場】

調査・データ解析 2

座長: 稲葉 由之(青山学院大学経営学部)

C31B-1 9:30~9:50

IRTを用いたインターネット調査の回答比率のバイアス補正

○横井 智広((株)日経リサーチ), 光廣 正基((株)日経リサーチ)

C31B-2 9:50~10:10

[講演取り下げ]

C31B-3 10:10~10:30

共感的ネット利用がレジリエンスへ及ぼす影響の縦断分析による再検証

○坂部 創一(創価大学理工学部情報システム工学科), 鎌田 正行(前創価大学理工学部:現在 IT 企業勤務), 山崎 秀夫(東京国際大学人間社会学部人間スポーツ学科)

C31B-4 10:30~10:50

特別あて所配達郵便を用いた郵送調査の可能性

日本における住所ベースサンプリングによる世論調査の試行

○齋藤 恭之(朝日新聞社 世論調査部), 渡辺 健太郎(立教大学社会情報教育研究センター 助教)

8月30日(水)一般セッション(120分)【C会場】

社会2

座長:松本 渉(関西大学総合情報学部)

C31C-1 9:30~9:50

統計的技法の応用研究の創造性/可能性

測定の等価性/不変性テストの統計的技法に焦点を合わせて

○真鍋 一史(統計数理研究所 データ科学研究系), 前田 忠彦(統計数理研究所 データ科学研究系), 清水 香基(北海道大学大学院文学研究院)

C31C-2 9:50~10:10

若年層の原子力発電利用態度

リスクフォーカスによる変化しやすさの検討

○北田 淳子((株)原子力安全システム研究所 社会システム研究所 社会意識・エネルギー問題研究プロジェクト)

C31C-3 10:10~10:30

エネルギー問題におけるリスク・コミュニケーション

共に考える姿勢が示されることの意味

○夢田 幹宏(株式会社 原子力安全システム研究所 社会システム研究所)

C31C-4 10:30~10:50

複数回答方式における選択個数をめぐる諸問題

橋本 実咲希(横浜市立大学大学院データサイエンス研究科), ○土屋 隆裕(横浜市立大学データサイエンス学部)

C31C-5 10:50~11:10

欠損によるバイアスと測定誤差によるバイアスのトレードオフの検討:交絡変数の事例

○中尾 走(広島市立大学), 樊 怡舟(広島大学), 康 凱翔(広島大学大学院)

C31C-6 11:10~11:30

複数の調査データを用いた機械学習による不注意回答者検知
○尾碕 幸謙(筑波大学ビジネスサイエンス系)

10:00-12:00

8月30日(水) ポスター発表(120分)

座長:岡部 智人(青山学院大学)

P01

視覚的情景の類似性判断における n-gram の影響と学習時間
○星野 英一(慶應義塾大学), 皆川 泰代(慶應義塾大学)

P02

どのような条件組合せ群が核兵器保有をもたらすか:QCA によるアプローチ
○藤田 泰昌(長崎大学 経済学部)

P03

Kappa マッチングによる個人のカテゴリカルな主観評価のモデル学習と評価
○熊野 史朗(NTT コミュニケーション科学基礎研究所), 成松 宏美(NTT
コミュニケーション科学基礎研究所), 大澤 まゆ子(筑波大学)

P04

不注意回答を含むデータを考慮した項目反応モデルの提案
○清水 友貴(名古屋大学), 石井 秀宗(名古屋大学)

P05

トピックモデルによる時代変化の可視化の試み
ハプスブルク君主国侍従長による 20 年間の日記を対象として
○打田 篤彦(神戸大学大学院人間発達環境学研究科), 山下 泰生(同志
社大学グローバル地域文化学部)

P06

大学生のスマートフォン依存傾向とストレス, 食物依存傾向の関連性
宇田川 陽秀(文教大学健康栄養学部), 長橋 実紅(エムサービス株式会
社 HSS 事業部), 杉野 嘉津枝(文教大学健康栄養学部), ○大橋 洸太郎
(文教大学情報学部)

P07

母親向け情報支援サイトにおける対話の分析

産前産後の感情に着目して

○羽鳥 なの香(青山学院大学経営学部経営学科), 岩永 二郎(株式会社エルデシュ), 横山 暁(青山学院大学経営学部マーケティング学科)

P08

大規模災害における遠隔地避難者の支援者ストレスとその改善に関する研究

-山形県酒田市を事例に-

○奥山 純子(東北大学病院リハビリテーション科), 門廻 充侍(秋田大学新学部設置準備担当), 本川 智紀(ポーラ化成工業株式会社), 加藤 朋美(ポーラ化成工業株式会社)

P09

調査ページごとの回答時間を用いた不適切回答者検知の探索的検討

○北條 大樹(東京大学大学院教育学研究科)

P10

直接質問法と Elaborate Item Count 法の比較

指示項目と回答の一貫性による不注意回答を除外しての検討

○増田 真也(慶應義塾大学看護医療学部), 澁谷 泰秀(青森大学), 村上 史朗(奈良大学), 吉村 治正(奈良大学)

P11

性的満足度の男女別規定要因

NFRJ2008-12 パネルデータをもちいて

○石橋 拳(専修大学大学院文学研究科), 木村 裕貴(東京大学大学院教育学研究科)

P12

組織階層情報を持つ従業員調査データにおける級内相関係数(ICC)の活用可能性の検討

○仲間 大輔(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ), 宇野 渉(株式会社リクルートマネジメントソリューションズ)

P13

多次元項目応答理論における非補償型-補償型の誤特定下での推定分散について

○玉野 浩嗣(総合研究大学院大学), 日野 英逸(統計数理研究所), 持橋 大地(統計数理研究所)

P14

囲選択肢としてのプラン追加を用いた魅力効果についてのフィールド実験研究

pixivFANBOX の売上データを用いた実証研究

○橋本 大河(慶應義塾大学大学院 経済学研究科), 星野 崇宏(慶應義塾大学 経済学部 / 理化学研究所 AIP センター)

14:00-18:30

8月30日(水)日本行動計量学会創設50周年記念シンポジウム
【本多記念国際会議場】

総合司会:松田 いづみ(青山学院大学)

記念講演:岩坪 秀一(大学入試センター 名誉教授)

岡太 彬訓(立教大学 名誉教授)

パネルディスカッション:テーマ「未来への行動計量学」

ファシリテーター:狩野 裕(大阪大学)

パネリスト:

宇佐美 慧(東京大学 教育学研究科)

及川 怜(慶應義塾大学 SFC 研究所)

小杉 考司(専修大学 人間科学部)

堤 瑛美子(東京大学 情報理工学系研究科)

福田 昌史(読売新聞社 世論調査部)

脇田 彩(お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系)

8月31日(木)

9:30-11:30

8月31日(木) 一般セッション(120分)【A会場】
心理

座長: 繁樹 算男(慶應義塾大学)

C41A-1 9:30~9:50

A Two-Step Robust Estimation Approach for Inferring Within-person
Relations in Residual-level Models

○宇佐美 慧(東京大学大学院教育学研究科・教育学部)

C41A-2 9:50~10:10

一対比較型心理測定における順序効果に関する検討

○分寺 杏介(神戸大学経営学研究科)

C41A-3 10:10~10:30

Knowledge Tracing における達成度測定の信頼性係数

○島田 大祐(東京大学大学院 教育学研究科), 岡田 謙介(東京大学大学院教育学研究科)

C41A-4 10:30~10:50

二段階マルコフ決定課題における情動刺激介入の思考モード誘導効果について

○長屋 優太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 植月 健太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 山口 勇人(トヨタ自動車株式会社 東富士研究所), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部, 理化学研究所 AIP センター)

C41A-5 10:50~11:10

VRを用いた公共交通機関における混雑緩和のための社会同調ナッジの効果に関する実験研究

○西村 大雅(慶應義塾大学法学部), 植月 健太(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 浅川 香(三菱電機株式会社情報技術総合研究所), 陳 薇雅(三菱電機株式会社情報技術総合研究所), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部, 理化学研究所 AIP センター)

C41A-6 11:10~11:30

WAIS データのベイズ的因子分析

○繁榘 算男(慶應義塾大学), 古野 公紀(立命館大学総合心理学部), 上野 一彦(東京学芸大学), 松田 修(上智大学総合人間科学部心理学科), 山中 克夫(筑波大学人間学群障害科学類)

**8月31日(木) 特別セッション【B会場】
多様な非対称データ解析についての研究と応用**

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院)

S41B-1

A complex dynamical system theory of weighted digraph

○千野 直仁(Chino Institute for the Studies of Asymmetry and Chaos)

S41B-2

Two-mode three-way asymmetric multidimensional scaling based on dominance-point model I

○岡太 彬訓(立教大学), 今泉 忠(多摩大学)

S41B-3

Two-mode three-way asymmetric multidimensional scaling based on dominance-point model II

○今泉 忠(多摩大学経営情報学部), 岡太 彬訓(立教大学)

S41B-4

2相3元非対称非類似度データに対する非対称ノルムを用いたMDSについて

○土田 潤(京都女子大学), 宿久 洋(同志社大学)

S41B-5

重複クラスター分析法の非対称データへの適用

○横山 暁(青山学院大学 経営学部マーケティング学科), 岡太 彬訓(立教大学)

8月31日(木) 特別セッション(120分)【C会場】

継続調査と国際比較調査の分析

オーガナイザー, 司会者: 松本 渉(関西大学総合情報学部)

討論者: 前田 忠彦(情報・システム研究機構)

S41C-1

継続調査と国際比較調査の意義と課題

ー地域の継続調査と日米韓の国際比較調査の実践からー

○松本 渉(関西大学総合情報学部)

S41C-2

地域満足度とその規定要因の経時変化

高槻市民郵送調査データを用いた基礎分析

○塚常 健太(岡山理科大学経営学部経営学科)

S41C-3

安全保障政策に対する意識形成要因の国際比較

朝鮮半島核・ミサイル問題の中の日米韓三カ国

○西舘 崇(共愛学園前橋国際大学), ○松本 渉(関西大学)

S41C-4

働き方と社会貢献の関わりについての国際比較

○松本 渉(関西大学総合情報学部)

S41C-5

SDGsと市民社会の国際比較

○角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

12:30-14:30

8月31日(木) 特別セッション(120分)【A会場】
心理学におけるモデリングアプローチの展開 V

オーガナイザー,司会者:小杉 考司(専修大学人間科学部)

S42A-1

態度学習モデルを用いた態度測定の妥当性の検討

○清水 裕士(関西学院大学社会学部), 柏原 宗一郎(関西学院大学社会学研究科)

S42A-2

意思決定モデルを用いた攻撃行動生起メカニズムの検討

○柏原 宗一郎(関西学院大学 大学院社会学研究科), 清水 裕士(関西学院大学 社会学部)

S42A-3

他者の協力期待がどのように見積られるか(2)

ーモデルによる検討ー

○三木 毬菜(関西学院大学), 水野 景子(関西学院大学), 清水 裕士(関西学院大学)

S42A-4

SVO スライダー課題を用いた社会選好パラメータの統計モデリングによる推定

○水野 景子(関西学院大学社会学研究科・日本学術振興会), 清水 裕士(関西学院大学社会学部)

S42A-5

混合ガンマ分布による住宅侵入窃盗犯の犯行行程距離の推定

○小野 修一(山口県警察本部科学捜査研究所)

8月31日(木) 一般セッション(120分) 【B会場】

マーケティング1

座長:石橋 敬介(信州大学)

C42B-1 12:30~12:50

商品カテゴリーの分類と消費者異質性を考慮した非計画購買率の推定

○石橋 敬介(信州大学), 佐々木 舞香(流通経済研究所), 尾崎 幸謙(筑波大学)

C42B-2 12:50~13:10

衝動購買に対する後悔と次回購買へ与える他者の影響

—実験的調査による検討—

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○潘 潔(大阪経済大学経営学研究科)

C42B-3 13:10~13:30

異性交際中の感情およびストレスの衝動購買との関係

—構造方程式モデリングによる検討—

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ○李 博(大阪経済大学経営学研究科)

C42B-4 13:30~13:50

オルタナティブデータを用いたマクロ消費動向のナウキャストイング

ATM利用履歴データを用いた計量経済モデルによる商業販売額(小売)の予測

○山田 大河(慶應義塾大学経済学部), 西村 大雅(慶應義塾大学法学部), 富田 侃叡(慶應義塾大学経済学部), 古室 早理(慶應義塾大学経済学部), 栗原 歩美(慶應義塾大学経済学部), 笹渕 陽南乃(慶應義塾大学経済学部), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部,理化学研究所 AIP センター)

C42B-5 13:50~14:10

ロイヤルティプログラムにおける誕生日特典の短期・長期的効果の推定及び比較

○西尾 和生(慶應義塾大学大学院経済学研究科), 星野 崇宏(慶應義塾大学経済学部)

C42B-6 14:10～14:30

PB シェアはストアロイヤリティを高めるのか？

—COVID-19 前後の日本市場における関係の変化—

○川西 建(株式会社インテージ), 中野 暁(明治学院大学 経済学部)

8月31日(木)特別セッション(120分)【C会場】

世論調査・社会調査の方法論と実践的研究

オーガナイザー: 吉野 諒三(同志社大学)

S42C-1

意識調査における回収層・未回収層のプロファイリング

- GSS 信頼感3項目にを中心としたサンプルの社会参画度の考察

○吉野 諒三(同志社大学・社会調査研究センター), 前田 忠彦(統計数理研究所), 鄭 躍軍(同志社大学), 林 文(統計数理研究所), 陳 艶艶(福岡工業大学), 王 喆瑀(同志社大学), 角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学)

S42C-2

調査データから見た環境意識の特徴

- 登録モニターWEB調査の試行

○陳 艶艶(福岡工業大学 社会環境学部), 林 文(東洋英和女学院大学名誉教授), 鄭 躍軍(同志社大学), 吉野 諒三(同志社大学)

S42C-3

日本人の消費意識と耐久性の異なる財の選択基準との関連性

○王 喆瑀(同志社大学 文化情報学研究科), 鄭 躍軍(同志社大学 文化情報学研究科), 吉野 諒三(同志社大学)

S42C-4

行動変容のターニングポイント分析

- 成果連動型民間委託契約方式(PFS)に関する取組

○角田 弘子(日本ウェルネススポーツ大学), 松原 望(東京大学名誉教授)

S42C-5

調査モード間の比較に関する研究

- 日本人の国民性調査関連研究を例として

○前田 忠彦(情報・システム研究機構 統計数理研究所), 稲垣 佑典(成城大学社会イノベーション学部), 吉野 諒三(同志社大学社会調査研究センター)

12:30-13:30

8月31日(木) ラウンドテーブルディスカッション(60分)【D会場】
多様な非対称データ解析の有用性と適応可能性

オーガナイザー, 司会者: 中山 厚穂(東京都立大学大学院経営学研究科)

S42D-1

マーケティングデータ解析における多様な非対称データ解析の有用性と適応可能性についての検討

○中山 厚穂(東京都立大学大学院)

14:50-16:50

8月31日(木) 特別セッション(120分)【A会場】
WAIC/WBICと項目反応理論への応用

オーガナイザー, 司会者: 鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科 統計数理講座)

S43A-1

渡辺澄夫ベイズ理論の全容

○鈴木 讓(大阪大学 大学院基礎工学研究科 統計数理講座)

S43A-2

WAIC や WBIC と学習係数 λ

○車谷 優樹(大阪大学大学院基礎工学研究科)

S43A-3

WAIC や WBIC の項目反応理論への適用可能性

○北條 大樹(東京大学大学院教育学研究科)

S43A-4

項目反応理論における学習係数

○池尻 拓巨(大阪大学大学院基礎工学研究科)

8月31日(木) 一般セッション(120分)【B会場】
マーケティング 2

座長:上田 雅夫(横浜市立大学 データサイエンス学部)

C43B-1 14:50~15:10

主観的厚生に影響を与える日常の習慣
食品の利用状況に着目し

○上田 雅夫(横浜市立大学 データサイエンス学部), 白石 小百合(横浜市立大学国際商学部), 中谷 朋昭(東京大学大学院農学生命科学研究科)

C43B-2 15:10~15:30

片づけが買い物意識に与える影響

○吉田 綾(国立環境研究所)

C43B-3 15:30~15:50

Consumer Forecasting における予測の手掛かりに関する考察

○芳賀 麻誉美(大阪経済大学)

C43B-4 15:50~16:10

革新性および食品リスク敏感性と昆虫食意向の関係性分析
ー構造方程式モデリングによる検討ー

芳賀 麻誉美(大阪経済大学), ONGUYEN DUC TAM(大阪経済大学 経営学部 3年)

C43B-5 16:10~16:30

対人的マルコフ連鎖シミュレーションによる価格受容性推定

○小野 滋((株)インサイトファクトリー)

C43B-6 16:30~16:50

消費財価格変更に伴う購買行動変化に生活者特性・商品カテゴリー特性が
与える影響の推定

○篠原 正裕((株)インテージ 事業開発本部 DX部)

8月31日(木) 特別セッション(120分)【C会場】

調査をめぐる環境変化と問題についての検討

オーガナイザー、司会者:中山 厚穂(東京都立大学大学院)

オーガナイザー:大竹 延幸((株)マーケティング・サービス)

討論者:前田 忠彦(統計数理研究所)

S43C-1

登録モニターを用いた3つのオンライン調査の実態

未回収層バイアスの視点からみた非確率抽出調査

○吉野 諒三(同志社大学)

S43C-2

世論調査の品質保持のために：調査実施機関から見るコロナ禍の影響と今後の課題

○小松 香奈江(一般社団法人 中央調査社 調査部)

S43C-3

報道機関が実施する世論調査や選挙予測調査の実態と課題

報道現場からのニーズへの対応と調査精度の確保のために

○渡辺 久哲(上智大学文学部)

S43C-4

オンライン調査における課題の検討

○前川 法夫(楽天インサイト株式会社), 大竹 延幸(株式会社マーケティング・サービス)

日本行動計量学会第 51 回大会

主催：日本行動計量学会第 51 回大会実行委員会

於：青山学院大学青山キャンパス

開催日：2023 年 8 月 28 日～31 日

共催：青山学院大学教育人間科学部附置教育人間科学研究所

青山学院大学経済学会

青山学院大学経営学会

青山学院大学国際政治経済学部附置国際研究センター

○ 実行委員会

大会実行委員長

横山 暁（青山学院大学）

大会副実行委員長

元山 齊（青山学院大学）

実行委員〔五十音順〕

稲葉 由之（青山学院大学）

大森 拓哉（杏林大学）

岡部 智人（青山学院大学）

川崎 玉恵（青山学院大学）

小杉 考司（専修大学）

田崎 勝也（青山学院大学）

玉利 祐樹（静岡県立大学）

中山 厚穂（東京都立大学）

松田いづみ（青山学院大学）

○ 協賛（2023 年 7 月 10 日現在）

株式会社 NTT データ数理システム

一般社団法人 中央調査社

一般社団法人 輿論科学協会

アイブリッジ株式会社

日本経済新聞社

株式会社日本リサーチセンター

株式会社インテージホールディングス

編集：日本行動計量学会第 51 回大会実行委員会

発行：日本行動計量学会

Know today, Power tomorrow

株式会社インテージホールディングス



 intage group

乗合形式の全国訪問調査

NOS

日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ Nippon Research Center Omnibus Survey

このような調査に向いています

- ・日本全国の市場実態を把握するための調査
- ・Web調査では取れないインターネット非利用者も対象とする調査
- ・時系列で見るトラッキング調査
- ・Web調査との併用で市場規模を把握する調査

幅広いお客様がご利用

- ・大学
- ・研究機関
- ・官公庁
- ・国内外企業
- ・団体・組織 など



1

代表性の高い
全国調査データ

2

フレッシュ
サンプルの
訪問留置

3

定期的実施で
50年以上の歴史

4

リーズナブルな
価格設定
(1問20万円～)

調査仕様

- ・対象地域：全国
- ・対象者：15～79歳男女個人1,200人(1地点6人×200地点)
- ・サンプリング：住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当て(期間内に依頼できない場合はエリアサンプリングで補完)
- ・調査方法：調査員による個別訪問留置調査
- ・基本料金：1問につき20万円(税別)から



日本リサーチセンター

Member of WIN and Gallup International Association

【お問い合わせ】マーケティング事業開発部(担当：永野)



070-3116-9062



nrc_mbd@nrc.co.jp



<https://www.nrc.co.jp>

ベイジアンネットワーク構築支援システム

BayoLinks[®]

ベイジアンネットワークは変数間の因果関係をグラフ構造で可視化するモデリング手法です

BayoLinksを使うことで大量のデータから依存関係を抽出し、ベイジアンネットワークを構築できます。

構築したベイジアンネットワークは、確率推論により、予測や診断に利用することができます。



主な特徴

- ・直観的なインターフェースで対話的にモデルを構築
- ・ネットワークグラフにより、モデル構造を視覚的に理解
- ・NTTデータ数理システムのデータ分析共通基盤MSIP上でモデリング
- ・感度分析により、事象に与える各要因の影響度を分析
- ・LoopyBP法、サンプリング法による確率推論実行
- ・マルチスレッド対応で構造学習を視覚的に理解

MSIP 対応

データの前処理、集計、グラフ化には、NTTデータ数理システムのデータ分析基盤MSIPを利用可能です (MSIPはBayoLinksライセンスに含まれます)。

MSIPは柔軟なデータ処理や現状把握のための可視化をノーコードで行う、Webアプリケーションです。

MSIP上でデータ分析ツールAlkanoと連携し、各種機械学習機能の利用も可能です (Alkanoのご利用には別途ライセンスが必要です)。

毎月実施中

BayoLinks 無料セミナー



無料トライアルあり

30日間ご利用可能なライセンスを発行します。
機能に制限はございません。
詳しくはお問い合わせください。

毎月セミナー (Webinar) 開催中! <https://www.msiism.jp/event/bayolinks-introduction.html>

NTT DATA 株式会社NTTデータ 数理システム 営業部 お問い合わせ:平日10:00-16:00

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館1階

✉ E-mail: bayoLink-info@ml.msi.co.jp ☎ 03-3358-6681